

6 高等学校 芸術科 (音楽) 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 次の1～3に答えなさい。

1 次の短歌を基に、下の【条件】に従って作曲し、解答欄の五線譜に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【条件】

- ① ピアノ伴奏付きの独唱曲とすること。ただし、前奏、間奏及び後奏については必要としない。
- ② 調は変ロ長調とすること。
- ③ 拍子は単純拍子とすること。
- ④ 長さは、16小節を超えないこと。
- ⑤ 曲の冒頭に長七の和音を用いること。
- ⑥ 曲の途中で、曲想を変化させること。
- ⑦ トニックで終止すること。
- ⑧ メヅ・スタカートを用いること。
- ⑨ ポルタメントを用いること。

2 次の(1)～(4)の世界の諸民族の音楽に関する語句の説明として適切なものを、下の(ア)～(キ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(1) ケチャ (2) オルティンドー (3) カッワーリー (4) ヨーデル

- (ア) パキスタンなどに伝わる宗教的な歌。主唱者とコーラスが交互に歌う。伴奏には、ハルモニウムなどが用いられる。
- (イ) ペルシア語で「声」を意味する。拍節のない自由なリズムで演奏される音楽。
- (ウ) 台湾の先住民の音楽。リーダーが発した低音の歌声に合わせてハーモニーを重ね、徐々に音域を高めていく。
- (エ) 裏声と地声を交互に組み合わせる歌唱法を特徴とする音楽。牧畜作業に伴って歌われてきた。
- (オ) 男性の集団が輪になって座り、リズムを刻むような言葉を唱えながら、体を揺り動かし踊るもの。
- (カ) モンゴルに伝わる民謡の一つ。拍のない音楽で、コブシのような細かい節回しの特徴。
- (キ) 一人で2つの音を発する唱法。

3 次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 三曲合奏とはどのようなものですか。書きなさい。

(2) 次の①～④の尺八の奏法に関する説明として適切なものを、下の(あ)～(お)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① スリ上げ ② コロコロ ③ メリ ④ タマネ

- (あ) 顎を引き、下唇で歌口を狭くして音高を下げる奏法。
- (い) 舌、または喉を震わせながら吹く奏法。
- (う) 閉じた指孔を徐々に開けて、音高を上げる奏法。
- (え) 顎を出し、歌口を広く開けて音高を上げる奏法。
- (お) 三孔を閉じ、四、五孔は指で覆うような状態にしたまま、一孔と二孔を交互に開閉する奏法。

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽I 内容 A 表現 (3) には、次のように示されています。

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。
 イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
 ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。
 (ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能
 (イ) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能
 (ウ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能

ア、イ及びウ(イ)を組み合わせた題材を設定する場合、どのような学習活動が考えられますか。次に示された生徒の状況を踏まえ、題材名を挙げて、3時間で扱う学習活動を書きなさい。ただし、用いる音階は、教会旋法とします。

生徒の状況	<対象年次> 1年次
	生徒はこれまでに、ドリア旋法が用いられている「スカボロー・フェア」(P.サイモン作曲)を歌唱する活動を行った。

- 3 「音楽I」の鑑賞の授業において、交響詩「魔法使いの弟子」(デュカース作曲)を教材として取り上げました。生徒は、「焦っている感じがする。」「おもしろい曲だ。」といった表層的な捉えに留まり、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことは十分ではありません。生徒が、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えるためには、どのような指導が考えられますか。教材曲の特徴に触れて、具体例を2つ書きなさい。

- 4 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽I 3 内容の取扱い (5) には、次のように示されています。

(5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。

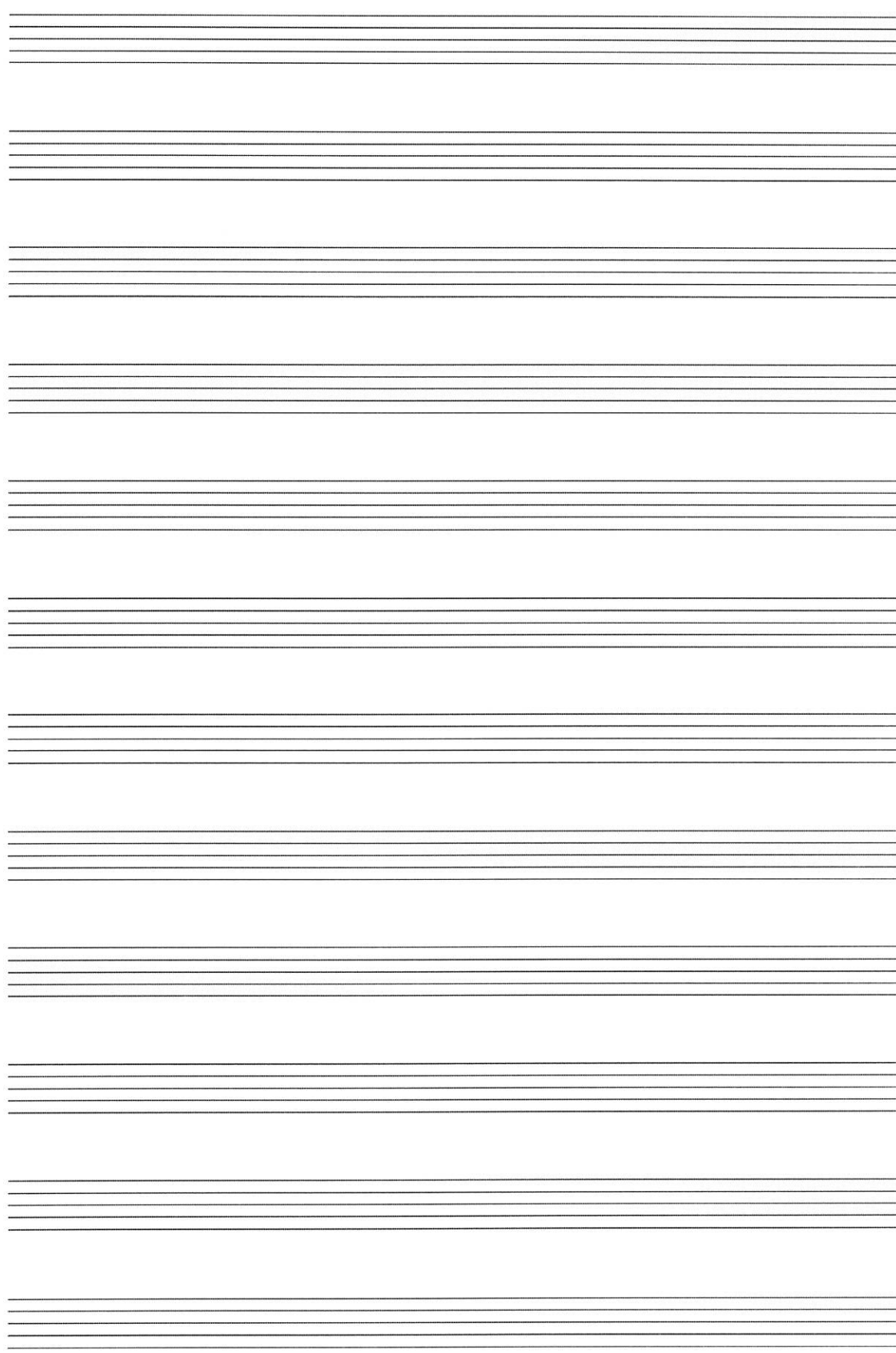
下線部「視唱と視奏及び読譜と記譜の指導」に当たっては、どのようなことに留意する必要がありますか。書きなさい。

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄
1	1	

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄		
1	2	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
	3	(1)		
		(2)	①	
			②	
			③	
			④	

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄			
2	題材名 ()			
	<table border="1"><thead><tr><th>時間</th><th>学習活動</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	時間	学習活動	
時間	学習活動			

※ 必要に応じて線を引いてもよい。

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
3	
4	